和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第23号
2020年12月8日

SG 課題研究Ⅱ・フィールドワーク (8)
移民難民分野・その２

♦全体研修
(1)国際協力理解講座
講師　日高振興局総務県民課　庄田実里 主事
(2)難民理解オンライン講座
講師　難民事業本部関西支部　中尾秀一 氏

♦主なフィールドワーク先
・アメリカ村カナダミュージアム　・御坊市内各店舗
・和歌山城　・有田川町アレック

全体研修（2）　難民理解オンライン（Zoom）講座

概要

難民事業本部関西支部の中尾氏よりオンライン（Zoom）にて難民理解についての講義を受けた。
難民についての基礎知識や、事前に送付していた質問事項を含んでの講義で、生徒たちも難民についての理解が深められたようである。生徒から発言する機会も多くあったため、有意義な時間となった。

活動報告　A02 班
「We are the world」
２年３組　岡本華奈

オンライン講座では、難民の方たちが日本や他国に行くときの大変さを知ることができました。言葉が全く通じないし、これからどうするべきかわからないのは、私たちが全く知らない国へ行くのと同じだとおっしゃっていて、考えてみると本当に心細いのだと想像することができました。
日本に来て難民認定を受けようとしても、その認定・不認定の審査が厳しかったり、曖昧だったりするため、移住先としての日本はあまり人気がないという事実も知りました。そういった制度自体を覆すような大きなことは難しいだろうけれど、自分たちができる小さなことを積み重ねて発信していくことで、少しは何かを変えるきっかけになかもしれないと思いました。
午後は、自分たちが設置させてもらっていた募金箱を回収しに行くことから始めました。学校で集計すると、予想していた以上に募金が集まっていることに驚きました。あまり募金をしている人の姿を私は見たことがなかったので、こんなにも協力してくださる人が多い結果に、地域の方々の温かさを強く感じました。また、募金以外でも、たとえば衣服や教材の寄付の計画を立てて声かけなどをしたら、協力してくださる人がたくさん出てきてくれるのではないかとも考えました。